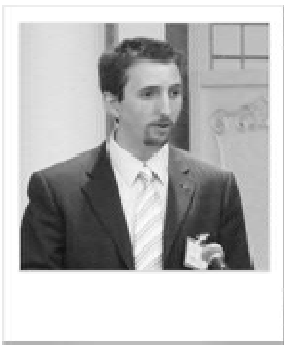


## 欧州の交通情報 市場調査シリーズ



### 「交通情報」— 新サービスコンテンツのキーワード

自動車コンテンツを提供する業界は過渡期にあります。TPEG サービスが 2009 年から開始されましたが、この次世代サービスでは RDS TMC が抱えていた多くの制約を克服できることになります。サービスプロバイダは、交通情報だけでなく、駐車場や燃料価格情報など他のドライブ関連コンテンツも提供できるようになります。またサービスプロバイダは、低帯域の FM ベアラを利用する代わりに、拡大するデジタルラジオのカバレッジを利用し、デジタルラジオのないところでは GPRS の利用を検討することが可能になります。



SBD では、2009 年のテレマティクス・ITS調査プログラムの一環として、交通情報の分野においても最新の状況、課題、今後の動向等につき調査を重ね、4つのレポートを発行してまいります。

欧州市場での今後の TPEG の採用動向について SBD のテレマティクスおよび ITS に関するスペシャリストである Andrew Hart は次のように述べています。

「サービスプロバイダーは現在、RDS TMCをイベントベースの交通情報配信にのみ利用しています。TPEG を利用することで、駐車場や、天気、さらには燃料価格などのリアルタイム情報を、多岐にわたって提供することが可能になります。さらに素晴らしいことに、TPEG はフレキシブルなプラットフォームであり、将来新たな消費者ニーズが生じた際に、新しいアプリケーションを加えることができます。また、RDS TMC のメッセージ

配信でサービスプロバイダーの障壁となりがちであった技術的な制約についても、TPEG ではそのうちいくつかについて克服しています。例えば TPEG では、あらかじめ設定された位置コードではなく、緯度経度座標を用いてピンポイントで正確な位置を特定することが可能です。これは、RDS TMC から TPEG への移行が支持されることになった多くの改善点のほんの一例です。」

「TPEG については、配信チャンネルが最も大きな障害の 1 つになっており、コストとサービス提供エリアのバランスをどう取るかが、将来的なサービス成功の鍵となるでしょう。サービスプロバイダーやナビサプライヤーが注意すべき点はまだ数多くあり、中でも最も大きな懸念事項は、サービスと受信機に互換性がない可能性があるということです。」

自動車業界において、過渡期には技術やビジネスモデルがまだ市場に出る段階にまで成熟していないという状況がみられます。このため SBD では、RDS TMC から TPEG への移行に関する分析を行ない、自動車メーカーが TPEG を採用すべきなのか、そうだとすればいつどのように対応していくべきかについて調査を継続しています。

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：近藤 真子

e-mail : mkondo@sbdjapan.co.jp

tel : 052-253-6203



## »» To enable growth through knowledge...



### 市場動向レポート：TPEG のビジネスケース構築に向けて(SBD/TEL/2421)

キープレイヤーの視点と動向、消費者のニーズ、ビジネスケースについて詳しく分析したレポートです。

- **市場動向がどのように TPEG に影響するかのか理解する**  
変化するナビの市場動向や経済動向を解析、TPEG サービスがどうあるべきかについて解説
- **TPEG サービスの新しい収益源を探る**  
TPEG が導入される要因と、収益源をどう構築するかについて考察
- **TPEG 配信コストを管理する**  
TPEG の DAB と GSM による配信の実現性について、コストを含め比較分析



TPEG は、もはや単に RDS TMC が進化したものとして捉えることはできない。ナビゲーション市場にこれまでにない激しい競争が起きている現在、次世代の交通情報サービスを実現するには、革新のレベルを更に高く、コストは更に低くという2つの複雑かつ対立するニーズに対応する必要がある。革新は個々のサービスプロバイダーが主導していくものであるが、エンドユーザーが求めるサービスの大幅な低価格化は、ナビ業界が協力して通信コストを大幅に削減しなければ実現することはできない。



### 技術動向レポート：TPEG の技術開発状況(SBD/TEL/2422)

技術動向、主要機能、コスト削減のアプローチについて詳しく分析したレポートです。

- **適切なアプリケーションを適切な方法で導入する**  
現状を解説すると共に、適切なアプリケーションと、懸案事項につき分析
- **TPEG のプロフィール**  
TPEG Automotive Profile (TAP) 及び、TISA が開発中の仕様につき解説
- **配信チャンネル**  
TPEG 配信に DAB、GPRS、両方を用いる場合の技術的な違いにつき解説



サービスプロバイダーが次世代サービスの提供に向け動き出すと共に、車両メーカーとサプライヤーも TPEG システムの開発に積極的に取り組んでいる。しかし、増え続けるサービスやアプリケーションのバリエーションに対応できるのかという課題があり、これを乗り越えるためには、TPEG の採用を決めたメーカーが共にあるべき機能を絞り込み、サービスプロバイダーに対し調整を図る必要がある。これにより、台数の少ない初期段階のコストを最小限にすることが可能になる。

# 》》 ....know what tomorrow brings



## 販売予測：欧州の交通情報(SBD/TEL/2423)

今後7年間のシステム販売台数、装着率、カバレッジ等を予測しています。

- TPEG 受信機市場の成長は？
- TPEG 採用をリードする国は？
- PND 市場での TPEG の拡大は？
- その他データも合わせ、2015 年までの予測をグラフで提供



0101100101  
1101010010  
1110100010  
1101000111

## 機能データベース：欧州の交通情報(SBD/TEL/2424)

アプリケーションの仕様、車両メーカーの採用状況、サービス内容、カバレッジ等をまとめたデータベースです。

RDS TMC サービスそれぞれにつき、下記項目を網羅

- サービスプロバイダーや適用国、サービス開始タイミング
- 各サービスプロバイダーによる交通データの収集方法。自動アプローチ(プローブデータなど)・マニュアルアプローチ(他機関から提供されるデータなど)
- 道路網カバレッジ、地域カバレッジ
- 配信チャンネル、メッセージ反復レート、メッセージの地域分割、伝送ネットワークの種類など
- ビジネスモデル



販売予測と機能データベースはオフィス 2003 バージョンのエクセルシートでのご提供となります。

SBD ジャパン  
Tel: (052) 253 6201  
E-mail: postbox@sbdjapan.co.jp  
www.sbdjapan.co.jp

## SBD の取り組み

SBD は、戦略的分析とデータを包括的に組み合わせ、お客様にご提供致します。弊社の理念は専門知識を通じてお客様のビジネスの成長をお手伝いすることです。当社の目的は以下の通りです。

- お客様が開発すべき技術は何かを再確認していただくことによりビジネスの成長をサポートします
- お客様の計画と実施にかかる時間を短縮することによりコスト削減をサポートします

SBD の調査プログラムは、お客様のニーズとご予算に合わせたフレキシブルな内容となっており、お客様の製品プランニングと開発プロセスに弊社の最適な分析を組み入れるような形で御提案させていただきます。

調査レポート、販売予測、データベースはそれぞれ単独で御購入頂けます。御購入頂いた後、内容についてのご質問も承ります。

SBD は、お客様が関心をお持ちの分野で最的なソリューションを持つことがいかに重要であることを認識しています。分野別購読サービスパッケージでは、市場動向レポート、技術動向レポート、販売予測、データベースの 4 つの発行物により、キーとなる必要な情報を全てご提供致します。

又、このパッケージを御購入頂きますと、1 日無償コンサルティング（通常¥180,000/日）をご利用になれます。これは、SBD エキスパートの1日分の調査工数を利用して頂き、お客様のためだけの特別調査を実施するものです。SBD の専門知識をフルに活用頂ける、市場における競争力強化に理想的なサービスです。

	英語版 (税別)	日本語対訳付 (税別)
2421 市場動向レポート	¥215,000	¥250,000
2422 技術動向レポート	¥215,000	¥250,000
2423 販売予測	¥150,000	¥170,000
2424 データベース	¥150,000	¥170,000
コンサルティング1日	(¥180,000)	(¥180,000)
合計	(¥910,000)	(¥1,020,000)

\*上記は、マルチユーザー版(製本版+電子データ)の価格です。シングルユーザー版(製本版のみ)の価格は別途お問い合わせください。

### 分野別購入パッケージのセット価格(税別)

4 レポート全てのご購入で、1 日無償コンサルティング(通常 ¥180,000) をご提供致します。

英語版                    ~~⇒¥910,000~~    →    ¥730,000

日本語対訳付    ~~⇒¥1,020,000~~    →    ¥840,000

お問い合わせはこちらまで  
SBD ジャパン

Email: [mkondo@sbdjapan.co.jp](mailto:mkondo@sbdjapan.co.jp)

Tel: 052 253 6203 / Fax: 052 253 6204

(担当: 近藤 真子)

SBD の調査プログラムでは、弊社が専門とするテレマティクス、ナビゲーション、交通情報、コネクティビティ(接続性)、オーディオ/ビデオ、ITS/ADAS(先新運転支援システム)の 6 つの分野において、それぞれ上記 4 つの出版物を年間を通じて提供致します。レポートは単独でも、分野毎にでもご購入頂けます。

又、プラチナ会員サービスでは、6 つの調査分野全てに渡り、年間を通じて定期的に調査レポートとデータをご提供致します。プラチナ会員になって頂きますと、無償コンサルティングを合計 6 日分御利用頂ける他、分野別購読を個別にご契約頂く場合に比べて料金が 10% お安くなります。また、SBD スタッフ 1 名との定期ミーティングを設け、会員期間中のお客様のニーズにお応えします。さらに、追加の調査をご希望の場合は、特別料金でご利用になれます。お客様専用の FTP サイトを開設し調査レポートをダウンロードすることにより、御社内での情報共有が可能です。